

地域ぐるみで農村環境保全活動を推進

中間農業地域

23.石橋のふるさとを守る会（神奈川県小田原市）

- 本地区は、小田原市南西部に位置し、農地の大部分は柑橘を主体とした樹園地であるため、温州みかんの栽培が盛んであるが、近年は湘南ゴールドやレモンなどへの転換も進んでいる。
- 農業者の高齢化や後継者不足により、耕作が困難となる農地もあり、担い手への農地の集約を進める必要がある。
- 地域共有の資源である農地・水・環境を保全するための活動組織を設立し、農地及び施設の適正管理を行っている。

【地区概要】

- ・取組面積 23.45ha
(田 0ha、畑 23.451ha)
- ・資源量 農道 12.6km
- ・主な構成員
農業者、非農業者(土地改良区、自治会、公民館、森林組合)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題



石橋地区の農地

- 傾斜地帯の樹園地で、農道が網の目のようになり、農道ごとに役員を置き共同で草刈りや点検活動を行っているところがほとんどである。
- 費用は、すべて農業者の自費で行っていた。

取組内容



水兼農道の清掃



農道の管理

- 農用地法面、農道周辺の草刈りや側溝の泥上げを実施。
- 異常気象時の見回りを実施し、農地や農道の応急措置などを実施。

効果、課題、今後の展開

- 平成20年度から本事業に取り組んでおり、活動の進展にあわせ取組面積を拡充。
- 土地改良区、自治会、公民館や森林組合と連携し、樹園地農道の維持管理が図られている。
- 当該交付金により、地域ぐるみの共同作業の大きな励みになっている。



役員会
(農地の保全、農道の維持管理について話し合う)